



2024年度農学部・獣医学部同窓会 東京支部 同窓会の開催

去る2024年11月30日(土)、午後2時からホテルグランドヒル市ヶ谷で、斎藤章、守沖丈、遠藤健治、領家百合雄、広瀬治子、杉雪子、福田昌治、水越文徳、清水吉弘、深町輝康、久保田徹、桑野昭、安齊了、吉田恵子、平川由佳の15名(継承略、順不同)による東京支部同窓会が開催されました。

最初に、福田さんが40分間の講演を行い(内容は講演要旨をご覧ください)、次いで深町さんが「獣医学科80周年記念式典の報告」と題し20分間の講演を行いました(こちらは別途記事をお読みください)。どちらの講演も大変興味深い内容で、質疑応答も活発でした。

講演会の後は立食形式で懇親会を行い、和気あいあいとした雰囲気の中で大学の思い出話や近況報告に花が咲き、あっという間に予定の2時間が過ぎてしまいました。最後に全員で集合写真を撮り、次年の再会を誓っての解散となりました。

前年と比べて参加者が少なかったことが残念でしたが、時代は違えども共通の記憶と話題があるのは同窓会の魅力です。思い出話はもちろんですが、新しい知己を得る絶好の機会にもなるかと思います。今年は若い現役の方が参加しやすい同窓会を目指し、後日改めてご案内する予定です。案内状が届きましたら、是非ご参加を検討ください。

【講演要旨】

家畜衛生と畜産振興に取組んだ30年～成牛下痢症ウイルスと地鶏研究を中心に
獣医学科40回生(平成6年卒業) 福田昌治

大学時代、家畜病理学研究室で鶏のウイルス病を研究し、卒業後は出身地の埼玉県に入庁。飼料検査業務を経て配属された育成牧場では、子牛下痢症対応に追われ、家畜保健衛生所でウイルス検査を担当すると、特に成牛下痢症に多数遭遇した。これらの経験を踏まえ、業務の傍ら2008年に岐阜大学大学院連合獣医学研究科に社会人入学した。「成牛ウイルス性下痢症の疫学および迅速診断法」をテーマに全国規模の疫学調査を行うとともに、成牛下痢症の主要な起因ウイルス5種を同時検出するマルチプレックスRT-PCR法を開発した。同法は現在、農林水産省の病性鑑定指針に収載され、家保の日常診断に使用されている。

2016年からは農業技術研究センターに配属になり、県の肉用ブランド地鶏「彩の国地鶏タマシャモ」の改良を行った。大学卒業から30年になる今年、タマシャモは原種の完成から40年を迎え、現在、これをベースにした新たな卵肉兼用ブランド鶏の開発などに取組んでいる。



山口大学獣医学部獣医学科創立80周年祝賀会 報告

山口大学獣医学科の濫觴は1885(明治18)年創立の山口県山口農学校(現・県立山口農業高等学校)獣医科です。その後さまざまな変遷を経て、終戦間近1944年1月、吉敷郡小郡町に県立山口高等獣医学校創設、翌年山口県立獣医畜産専門学校と改称、1949(昭和24)年、新制山口大学農学部獣医学科となりました。2024年に丁度創立80周年を迎えました。慶事であります。

創立80周年記念の主な行事は、

- ① 記念植樹祭(10/10)、樹木:サクラ 植樹場所:iCOVER 棟前
- ② 基金設立事業(教育研究活動支援、国際交流推進、就学支援)
募金活動:2023/9~2025/3(現在も募金中、山大ホームページ参照)
- ③ 80周年記念誌 2025年初頭に発刊
- ④ 記念式典&祝賀会は10/26に湯田温泉、かめ福で開催されました。



参加者は凡そ、160名、祝賀会では谷沢幸生学長挨拶に始まり、各界からの来賓挨拶、その後東京大学名誉教授林良博先生、大阪府立大学名誉教授山手丈至先生(同窓生)、衆議院議員山際大志郎先生(同窓生、ビデオ出演)等の記念講演がありました。懇親会は佐藤晃一先生(元学部長、副学長)の開会宣言で始まりしました。土居神楽の演舞は圧巻、また谷口雅康准教授の挨拶、学生代表(藤田君)の挨拶は立派でした。

度会学部長の「20年後は100周年祝賀会を開催しましょう」3本締めで閉会しました。

(文責:V16深町輝康)

山口大学獣医学科創立80周年記念式典



(↑ 山口大学獣医学科創立80周年記念事業HPより)



病理学研究室の大先輩、副島裕子さんからバトンを受け取りました。獣医学科を卒業後、製薬会社に就職した私は臨床経験ゼロですが、今回は「親」としてペットを飼うことについて考えたエピソードをお届けします。

娘が「ペットが欲しい！」と言い出したのは今回が初めてではありません。動物好きな私も共感する部分はありますが、マンションで飼うことは簡単ではないため、これまでは断ってきました。しかし、娘が高校生になり自分でできることも増えたため、今回は真剣に検討することにしました。

まず、家族全員が快適に過ごすため、飼育における条件を整理してみました。

1. 飼育環境の手入れが簡単であること(私もお世話を手伝う可能性が高いため)。
2. 家族のアレルギーに配慮すること。
3. 初心者でも安心して飼える、人懐っこい性格の動物であること。

驚いたのは、娘の調査能力でした。インターネットでさまざまな動物の特徴や飼育方法を熱心に調べ、それをもとに具体的なプレゼンをしてくれました。さらに、娘は現地調査も欠かしませんでした。複数のペットショップや動物カフェに足を運び、実際の動物を観察し、店員さんに話を聞くことで、ネットでは得られない生の情報を集めていました。自ら行動して必要な情報を集める姿に、親として成長を感じました。

最終的に、初心者にもお世話が比較的簡単なハムスターかファンシーラットを選ぶことになりそうです(この記事が皆さんに届くころにはもうお迎えしているかもしれませんね)。ペットとの生活は手間もありますが、命の大切さや責任感を学ぶ良い機会です。私も、獣医学の(眠っていた)知識を活かし、ペットを飼うことを通じて親子で学び、成長していきたいと思います。

次のバトンはV44上野孝範さんをお願いしました。



ふくろうカフェで、ヘビの写真とる娘。

メール配信にご協力をお願いいたします！

同窓会運営費節減のため、ニュースレターや同窓会のご案内を、郵送ではなくメールにて受信いただけますと助かります。皆様のメールアドレスを事務局までお知らせください。BCC配信ですのでアドレスは公開されません。ご安心ください。

手続きは、こちらからワンクリックでメール送信できます！→



また、同窓会ホームページからもご登録できます。

<https://yamaguchiagrivet.wixsite.com/tokyo>

東京支部 事務局メンバー

会長	桑野 昭(V21,S48卒): kuwa5ayt@green.ocn.ne.jp
幹事	安齊 了(V27,S54卒): to_ru.anzai49@docomo.ne.jp
幹事	吉田 恵子(V48,H14卒): keicho@mth.biglobe.ne.jp
幹事	平川 由佳(V53,H19卒): yspiyopiyo@yahoo.co.jp



編集後記

皆さまいかがお過ごしでしょうか。同窓会が過ぎ、まもなくインフルエンザが大流行となりました。暖かくしてご自愛ください。私は年末年始、同窓会で杉雪子さんからご紹介がありました、山家又祐氏(山口大学獣医学科卒、2024年9月ご逝去)・著の「気候変動最前線にて」を読んで過ごしました。躍動感ある文面で、知識豊富な一冊でした。(事務局 平川)

